

登米市教育委員会5月定例会議 会議録

会議の名称	令和6年第5回登米市教育委員会5月定例会議	
開催日時	令和6年5月21日(火)	
	午後 2時00分 開会	
	午後 3時38分 閉会	
開催場所	登米市役所 中田庁舎1階 101会議室	
教育長氏名	教育長	小野寺 文晃
出席委員氏名	委員	高橋 正則
	委員	小野寺 範子
	委員	大久保 芳彦
	委員	佐竹 美香
	委員	須藤 勝子
欠席委員		
傍聴者		
事務局職員氏名	教育部長	小林 和仁
	教育部次長兼教育総務課長	阿部 信広
	教育部次長兼学校教育管理監	鹿野 征美
	学校教育課長	猪股 勝徳
	生き生き学校支援室長	林 宏也
	学校再編推進室長	安部 保男
	生涯学習課長	守屋 乃扶子
	文化財文化振興課長	菊地 武
	教育支援センター所長	箱石 雄悟
	西部・北部学校給食センター所長	津藤 順
	南部・東部東和・東部津山学校給食センター所長	佐竹 伸一
書記	教育総務課 課長補佐	千葉 敬子
議題	報告第10号	一般事務報告について
	議案第23号	登米市学校給食センター運営審議会委員の任命について
	議案第24号	登米市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	議案第25号	令和6年度登米市一般会計補正予算(第2号)に対する意見聴取について
会議結果	報告第10号	報告
	議案第23号	決定
	議案第24号	決定
	議案第25号	決定

() は、発言なし部分

議題・ 発言・ 結果	小野寺教育長	ただ今から、令和6年第5回登米市教育委員会5月定例会議を開会します。開会時間は、午後2時とします。
	小野寺教育長	前回の会議録の承認については、事前配布により、内容を確認していただいていることとし、説明を省略させていただきたいと思います。
	小野寺教育長	会議録の内容についてご異議ありませんか。 (「なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないものと認め承認することとします。
	小野寺教育長	会議録署名委員の指名を行います。 私から指名してよろしいでしょうか。 (「はい」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないようですので、4番 佐竹委員、5番 須藤委員にお願いします。
	小野寺教育長	日程第1、報告第10号「一般事務報告について」を上程します。 「教育長の一般事務報告について」、私から報告いたします。 (一般事務報告について、令和6年4月26日から5月20日までの会議・行事等への出席状況やその概要などについて資料に基づき報告)
	小野寺教育長	一般事務報告が終わりました。この件についてご質問はありませんか。
	大久保委員	トランポリン大会があったようだが、競技人口はどのぐらいか。
	小野寺教育長	石越にトランポリンのスポーツ少年団があり、長年活動している。人数は把握していないが、器具や設備が整い競技大会を開催できるのは県内では石越だけである。 今回は古川のクラブチーム等から42名の参加があったが、その半分20名が石越の児童生徒であった。古川のクラブチームで活動している生徒も登米市の選手で、国体が決まりそうだ聞いた。
	大久保委員	オリンピック種目でもあるので、日本代表になるような選手が育つと良いと思う。
	小野寺委員	市制施行20周年記念事業には、各部署からどのような事業が出たか。教育委員会ではどのような事業を提案されたか。 こども手帳の贈呈があったが、毎年続くものか。
	小林教育部長	登米市誕生20周年の節目に、令和6年度にプレ、令和7年度にメインの記念イベントを行うもの。20周年記念のロゴマーク、市民が企画し参加するイベントへの補助については、これから募集をかけて進める。冠事業、20周年式典等の事業が予定されており、各部署から記念事業の企画提案を募り、現在検討中である。 教育委員会関係では、仮面ライダーのイベントの提案、20周年記念史作成、20周年給食、様々な式典に子供達が参加、ポーランドとの国

議題・ 発言・ 結果		際交流等があり、事業の絞り込みと具体化を進めている。
林活き生き学 校支援室長		こども手帳については、ぜひ来年度もとお願ひしたい。なお、こども手帳はDVDでデータ提供も受けている。データを活用させていただき、広く使わせて頂きたいと考えている。
小野寺教育長		こども手帳は5年生を対象に寄贈いただいた。とても参考になる内容なので、提供データを活用していきたい。
高橋委員		<p>コミュニティ・スクール研修が行われた。コミュニティ・スクールの推進は、個別の教育施策の一つの柱。毎年、教育長から校長先生方に、コミュニティ・スクールの考え方や重要性についてお話しいただいている。</p> <p>毎年市内の三分の一の校長が異動し、コミュニティ・スクールが空回りしているように感じる。学校運営協議会の回数等の取り組みの状況が異なり、コミュニティ・スクールの捉え方を勘違いしている学校もある。</p> <p>学校運営協議会で、最低限抜かなければならない事項等を、教育委員会でチェックする体制を充実できないものか。市のレベルを維持して一歩前進させるためには、今以上の取り組みが必要であると考え。</p>
小野寺教育長		<p>今まさに我々も心配しているところである。教育委員会で積極的にチェックする体制づくりをして行きたい。学校評議員と学校ボランティアを混同している部分があり、学校評議委員が学校をサポートするだけの会議になってしまっている。</p> <p>学校が良くなれば地域が良くなる、地域が良くなれば学校も良くなる、地域も学校もWin-Winの関係がコミュニティ・スクールである。</p> <p>10年後、子供や地域がどうあって欲しいか、学校と地域が共に良くなるような取り組みにするため、チェック機能について考えたい。</p>
大久保委員		コミュニティ・スクールは、今学校統合が進められ、地域の事情も異なって来ている思う。何かテーマを設けて取り組むと、標準化していくのではないか。
小野寺教育長		学校運営協議会いわゆるコミュニティ・スクールの肝は、子ども達をどう育てたいかである。そのために、学校と地域が、協働してすべきこと、お願ひしなければならないことを整理し、具体的に行動していくのが本来の在り様。将来を思っただけの行動になっているか、現状を一歩でも二歩でも前進できるよう、お力添えをお願ひしたい。
佐竹委員		<p>コミュニティ・スクール研修会は、未来の学校づくりというテーマのようであったが、どのような研修内容だったか。</p> <p>未来の学校づくりがテーマの自主映画を見る機会があり、本来あるべき姿だと思ったが、現状の学校教育とはかけ離れていると感じた。登米市では、この先どのような工夫をしていく考えか。</p>
箱石教育支援 センター所長		先の見えない時代、子供達をどう育てていきたいかが大事になってくる。将来を担う人材を育成する観点からお話いただいた。
林活き生き学 校支援室長		講師先生から、話を聞く、話すことの授業が紹介された。子供達がテーマを決めて課題のイメージを話し合い、実際に取り組み、完成させる。話すこと、聞くことをしっかり取り組むことが大事。自ら思考して伝える力を高めて行きたい。市でも取り入れて行きたい。

議題・発言・結果	佐竹委員	教師と子どもと一緒に育っていく内容であった事承知した。教育は、相互作用であるので、大切にしたい。
	小野寺教育長	公立学校では、法的な制限がある。学習指導要領があり、その中身いわゆるレシピはほぼ決まっている。それをどうアレンジしていくかが大事になってくる。お互いに聞く話すの力をつけ、学びの先にあるものを考えながら進めていきたい。
	小野寺教育長	ほかにご質問はありませんか。 (「なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、報告第10号「一般事務報告について」は、以上といたします。
	小野寺教育長	議事に入ります。 日程第2、議案第23号「登米市学校給食センター運営審議会委員の任命について」を上程します。 事務局から説明をお願いします。
	小林教育部長	(議案朗読)
	津藤給食センター所長	(議案内容を別添資料に基づき説明)
	小野寺教育長	事務局の説明が終わりました。この件についてご質問はありませんか。 (「なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、議案第23号「登米市学校給食センター運営審議会委員の任命について」は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないようですので、議案第23号「登米市学校給食センター運営審議会委員の任命について」は、原案のとおり決定することとします。
	小野寺教育長	日程第3、議案第24号「登米市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」を上程します。 事務局から説明をお願いします。
	小林教育部長	(議案朗読)
	守屋生涯学習課長	(議案内容を別添資料に基づき説明)
	小野寺教育長	事務局の説明が終わりました。ご質問はありませんか。 (「なし」の声あり)

議題・ 発言・ 結果	小野寺教育長	<p>ご質問がないようですので、議案第 24 号「登米市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p>
	小野寺教育長	<p>ご異議がないようですので、議案第 24 号「登米市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」は、原案のとおり決定することとします。</p>
	小野寺教育長	<p>日程第 4、議案第 25 号「令和 6 年度登米市一般会計補正予算(第 2 号)に対する意見聴取について」を上程します。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
	小林教育部長	(議案朗読)
	各課長	(議案内容を別添資料に基づき説明)
	小野寺教育長	事務局の説明が終わりました。ご質問はありませんか。
	大久保委員	<p>ネーミングライツパートナーの参加資格、決定までの流れはどうなっているか。</p>
	守屋生涯学習 課長	<p>参加資格は、信用を備え、公序良俗に反しない業種の事業者となっている。募集は、市ホームページで周知し、企業が応募。その提案を受け、施設を所管する課等で構成する庁内の審査委員会で、提案内容が検討され、決定となる。その後、決定企業と担当部署、指定管理施設であれば指定管理者の三者で協議していく流れとなっている。</p>
	大久保委員	複数企業から応募があった場合は、入札になるか。
	守屋生涯学習 課長	<p>ネーミングライツ事業は令和 5 年度から開始した。これまで 1 施設 1 企業の応募となっており、競合はなかったが、複数の応募があれば、業種や提案の金額を勘案して決定されるものと思う。</p>
	高橋委員	中田球場の愛称に「なかだ」は入らなくて良いのか。
	守屋生涯学習 課長	<p>ネーミングライツには、特定公募型と提案募集型とがある。特定公募型施設は、もともとの愛称を生かした形のネーミングとなる。提案募集型施設は、愛称のない施設で、迫図書館の「白鳥ライブラリー・爽陽」のような形になる。</p>
	小野寺委員	<p>命名権料は、市側で設定するものか。また、命名権の付与期間が、4 年と 5 年とあるが、違いは何か。</p>
	守屋生涯学習 課長	<p>特定公募型は、最低命名権料を提示している。提案募集型では、特に最低命名権料を設定していないが、大体 1 施設あたり 10 万円以上を想定している。ネーミングライツ期間については、5 年以内で提案をいただいております、今回は企業側から 4 年と 5 年の提案があったもの。</p>
	須藤委員	<p>ネーミングライツパートナーが決定することで、看板や案内等改めるようになるか。指定管理の施設でもあるので、経費の負担はどうなるか。</p>

議題・ 発言・ 結果	守屋生涯学習 課長	看板は企業側で作ることになる。封筒等印刷物は今あるものはそのまま使用し、印刷更新時に、ネーミングライツパートナーの名前を入れた形で作成する。印刷物等は、施設側の予算で対応することになる。電話等のアナウンスは、企業名の入った名称で対応するよう、指定管理者や各種大会主催者側をお願いしている。
	大久保委員	はっとFMで、ネーミングライツパートナーが盛んにお知らせしており、施設の宣伝になる。
	小野寺教育長	ほかにご質問はありませんか。 （「なし」の声あり）
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、議案第25号「令和6年度登米市一般会計補正予算（第2号）に対する意見聴取について」は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。 （「異議なし」の声あり）
	小野寺教育長	ご異議がないようですので、議案第25号「和6年度登米市一般会計補正予算（第2号）に対する意見聴取について」は、原案のとおり決定することとします。
	小野寺教育長	次に課長等報告に入ります 課長等報告（1）「部活動の地域移行について」事務局より説明願います。
	林活き生き学 校支援室長	（報告内容を別添資料に基づき説明）
	小野寺教育長	事務局の説明が終わりました。ご質問はありませんか。
	須藤委員	アンケートで子供達の意識や実態が知れて良かった。意識して活動していけるのではないか。準備委員会や関係者の悩みや課題はどうか。
	林活き生き学 校支援室長	準備委員会では、教員や地域のスポーツ少年団指導者もいる。その中で、中体連の運営について話題となった。休日は教員が出ないとされているが、中総体はどうなるのか。休日のケガ、トラブル等責任の所在はどこに在るのか。部活動ではなく地域移行で活動していくので、保険も必要となる。指導者に対する謝金や交通費もどうするか、検討していかなければならない。
	高橋委員	社会体育の地域移行も何十年も前から始まっている。何十年と続いて来た部活動を、地域に移行することは、本当に難しい事である。 平日は学校で活動することになるが、学校の活動と、地域クラブとの連携をどう進めるか。 また、地域クラブやスポーツ少年団の指導者は講習を受け研鑽を積まれて子供達の指導に当たっている。保険も制度化される。これからは経費を受益者負担でお金を集め対応していくようになる。指導者は、プロであり、その養成の予算も大きくなる。制度的な仕組みをどのように作っていくのか。 中総体を勝ち進み、県・東北・全国と進んだ場合はどうなるのか。今も外部指導者は、登録するとベンチに入れるようだ。市の大会は申

<p>議題・ 発言・ 結果</p>		<p>し合わせで良いが、県・東北・全国大会はどのような取扱いになるのか。宮城の子供達だけが出られない事態にならぬよう、まわりの歩調を把握しているか。</p>
	<p>林生き生き学 校支援室長</p>	<p>学校部活動と地域クラブの連携は、指導者の確保、子供達がどうい う活動をしたいか細かな調査活動を行い、子供達の声を取り入れた活 動をしていきたい。子供達は楽しく活動したい。親は人間づくりや人 間関係をさせたい。勝利至上主義ではない活動が望まれている。その ような活動ができるような体制づくりをしていきたい。 学校部活動と地域クラブの連携として、平日と休日の指導者が異なる ので、月に何回か打合せの時間や調整の場を設けていきたい。学校 や指導者の話を聞きながら、検討していきたい。</p>
	<p>猪股学校教育 課長</p>	<p>教員以外の一般の方が教える指導者には、指導資格のある方、ない 方という。スポーツ少年団では認定指導者、各競技種目では専門的な 種目ライセンスを持って指導に当たっている方もおり、プロクラブや Jr コーチなどは、有料で指導している。 部活動が外部委託になった場合、無資格者は指導できない。県では 県主催講習会を行っており、講習受講後はアプリに登録し、指導者と 指導を受けたい団体のマッチングする仕組みを作っている。 また、任意で指導者資格を取得した方は、継続して持続的な活動を するために、競技協会やスポーツ少年団に加入し指導に当たる。指導 するために資格取得し、資格登録にも経費負担があり、指導者登録も 少なっている状況である。 大会の参加については、県大会には外部指導者も入ると思われる。 東北・全国大会は、競技によってライセンスを持っていないと入れな い等制限があるかと思う。 昨年度から、個人競技の柔道や水泳、陸上の選手はクラブチームで 中体連に参加している。令和6年度は、サッカーとバレーのクラブチ ームが登録された。6月1日から中総体が行われる。例えばサッカー の県大会では、クラブチーム同士、学校部活動同士で対戦し、準決勝 等の時点で対戦するようになるとの情報があるが、競技毎どうなるか 分からない。</p>
	<p>小野寺教育長</p>	<p>複雑怪奇な地域移行である。文科省では令和7年度完全実施として いたが、できることからとトーンダウンして来た。単に部活を地域 に任せる簡単なものではない。様々な競技団体を一本化するのには至難 の業である。 活動したい子供達の意欲や気持ちを大事にしたい。活動の場をどう 担保していくか。子供を主体とした考え方で進めて行きたい。急ぐ必 要はないと考えている。登米市らしさとして、できることから確実に 進めて行くのが一番大事。やりたいスポーツをする。やりたい活動 をする。今春、吹奏楽がスポ少登録した。地域移行の流れを受けてだ ろうと思うが、文化芸術活動も動き出した。正解がない取り組みとな る。話し合うだけでなく、具体的に見えて来た課題を一つ一つつぶし て行きたい。</p>
	<p>高橋委員</p>	<p>クラブチームでも中体連に出られる。平日は学校、土日はクラブへ となると、人間関係は大丈夫か心配になる。</p>
	<p>猪股学校教育 課長</p>	<p>市内中学校では、中体連にクラブで出るか、部活動で出るか、4月 に選択している。</p>

議題・ 発言・ 結果	大久保委員	個人競技より、団体競技は難しいと思う。
	小野寺委員	先生方のアンケートから本音を読み取れる。 栗原市では、令和6年度から部活動の加入・未加入を選択出来るようになった。
	高橋委員	中体連負担金はどうなっているか。
	小野寺教育長	市教委負担である。
	須藤委員	グリーンツーリズムの事業で県南・仙台の高校生と話す機会があった。その生徒さん達は、入りたい部活がなくなっていると話していた。子供達のやりたい部活がなくなっていくのが心配だ。 野球では、シニアクラブやジュニアクラブに入っていると、中体連に出られないとの制限がある。学校部活動とクラブチームの活動が組み合わせられることができれば、活動が活性化するのではないか。
	小野寺教育長	やりたい部活をしたくても、部活は減り、逆行している状況。本気で考えて行かねばならない。最適な活動を探っているの、委員からも意見を聞かせていただきたい。
	佐竹委員	保護者からは、苦情はどこに言えば良いのか分からないとの声を聞く。子供や親の気持ちもあり、感情論になることも考えられる。窓口の一本化を考えて欲しい。
	林生き生き学 校支援室長	相談窓口をしっかりと整えたい。
	小野寺教育長	今は過渡期であるので、情報をオープンに行きたい。 ほかにご質問はありませんか。 (「なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、課長等報告(1)「部活動の地域移行について」は、以上といたします。
	小野寺教育長	以上で議案は全て終了しました。 それでは、次回の教育委員会定例会議の開催日程についてお願いします。
	阿部次長兼教 育総務課長	今回は、令和6年6月26日(水)午後1時30分の開催でお願いしたいと思います。会場は、101会議室でお願いします。
	小野寺教育長	令和6年6月26日(水)に行うことにご異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないようですので、次回の定例会議の日程は令和6年6月26日(水)に行うことで決定します。
小野寺教育長	午後3時38分、閉会を宣言します。 大変ご苦労様でした。	

そ の 他	小野寺教育長	ここで、午後3時50分まで休憩することとします。 (休憩 午後3時38分～午後3時50分)
	小野寺教育長	<p>その他</p> <p>以下の4件について、資料に基づいて事務局等から説明し、内容を確認していただきました。</p> <p>(1) 4月生徒指導状況について</p> <p>(2) 令和6年度東部採択地区協議会事務日程関係について</p> <p>(3) 高校生絵画展について</p> <p>(4) 市指定天然記念物『寺池城跡の松』松くい虫被害による枯死について</p> <p>散会時間は、午後4時14分とします。</p> <p>上記記録は正確であることを認め、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">令和6年 月 日</p> <p>会議録署名委員</p> <p style="text-align: center;">委 員 ㊟</p> <p style="text-align: center;">委 員 ㊟</p>

その他の概要

- (1) 4月生徒指導状況について (林活き生き学校支援室長 説明)
- (2) 令和6年度東部採択地区協議会事務日程関係について (林活き生き学校支援室長 説明)
- (3) 高校生絵画展について (菊地文化財文化振興課長 説明)
- (4) 市指定天然記念物『寺池城跡の松』松くい虫被害による枯死について
(菊地文化財文化振興課長 説明)